令和６年度 第６回教育研究審議会議事録

日　時　令和６年１１月２１日（木）　１４：２８～１５：３８
場　所　本部棟２階　中会議室
出席者　沖議長、中村委員、五福委員、佐藤委員、伊東委員、近藤委員、尾﨑委員、北山委員、末岡委員、高橋委員、山下委員、松浦委員、村田委員（出席１３名/１３名）
（事務局）西山次長、名越課長、奥井課長、吉賀班長、藤原主幹、岩佐主幹、鈴村主任

１　開　会

２　議事録の確認

令和６年度第５回教育研究審議会（令和６年１０月２４日）の議事録について承認された。

３　議　題

［１］審議事項

（１）第４期中期計画（案）の策定について

・事務局から別添資料１により説明があり、一部文言を修正の上、承認された。

【質疑応答等】

（問）Ｐ８［23］の県内就職率の定量的な指標について、現状から目標の上げ幅はどのような基準で設定したのか。

（答）設置団体である岡山県の「晴れの国おかやま生き活きプラン」と同様の伸び率を適用し、整合性をとっている。

（問）研修に参加することを定量としているものが４カ所ほどある。例えば、ハラスメント等防止研修参加者数の目標値については、どのように設定したのか。

（答）６年間で、教職員が２回以上受講することを目標としている。

（問）Ｐ５［12］志願者倍率について、中国・四国公立大学平均と比較しているが、岡山県立大学の学部編成に近い大学との比較の方が良いのではないか。

（答）１８歳人口減少の状況が地域によって差があり、全国で比較するのは難しく、中国・四国公立大学の平均と本学の数値が近かったため、比較対象とした。

（２）保健福祉学部教員の選考について

・事務局から資料１及び別添資料２により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

（問）実績不足のため助手として採用とのことだが、本人は了承しているのか。

（答）大学によって基準が異なる。職名については面接で本人に確認している。

（３）情報工学部教員の選考について

・事務局から資料２及び別添資料３により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

（問）応募資格（１）博士の学位を有し、大学院での教育・研究指導が可能なこととしているが、大学での実績は少ないようだが、教育の部分についてはどのように判断したのか。

（答）教育研究実務歴で確認するとともに、面接時にも確認している。

（問）（資料２－１）年齢が５４歳とのことだが、大学の採用計画としては問題ないのか。
（答）年齢で線引きすることはない。

（４）特任教授（情報工学部）雇用期間の更新について

・事務局から資料３及び別添資料４により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

（問）講義はできないのか。
（答）講義はしている。
（問）採用条件で「卒論生、大学院生の指導及び審査は、原則としてできないことにする」とのことだが、審査を行うことでどのような問題があるのか。客観的に審査ができる立場にあると思われるがいかがか。
（答）令和３年に新設したものであり、今後、必要があれば改正について検討する。

［２］報告事項

（１）令和６年度岡山県立大学・岡山県立大学大学院学位記授与式及び令和７年度岡山県立大学・岡山県立大学大学院入学式実施要領について

・事務局から資料４により報告があった。

○次回審議会は令和６年１２月１２日（木）１４：３０から開催する予定。